

道路づくりで活気溢れる “ふるさと島根”を創造



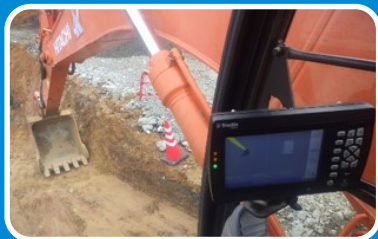
山陰道の整備促進 開通目標の確実な達成

- ・ 県内整備率R2；約63% ⇒R7；約83%目標



「山陰道の見える化」： 工事進捗状況の発信

- ・ 現場見学会、式典の実施やSNSを通じて、積極的に発信



「ICT活用 全国トップランナーへ」

- ・ 山陰道の関連工事から管理系工事への展開
- ・ 自治体発注工事への普及

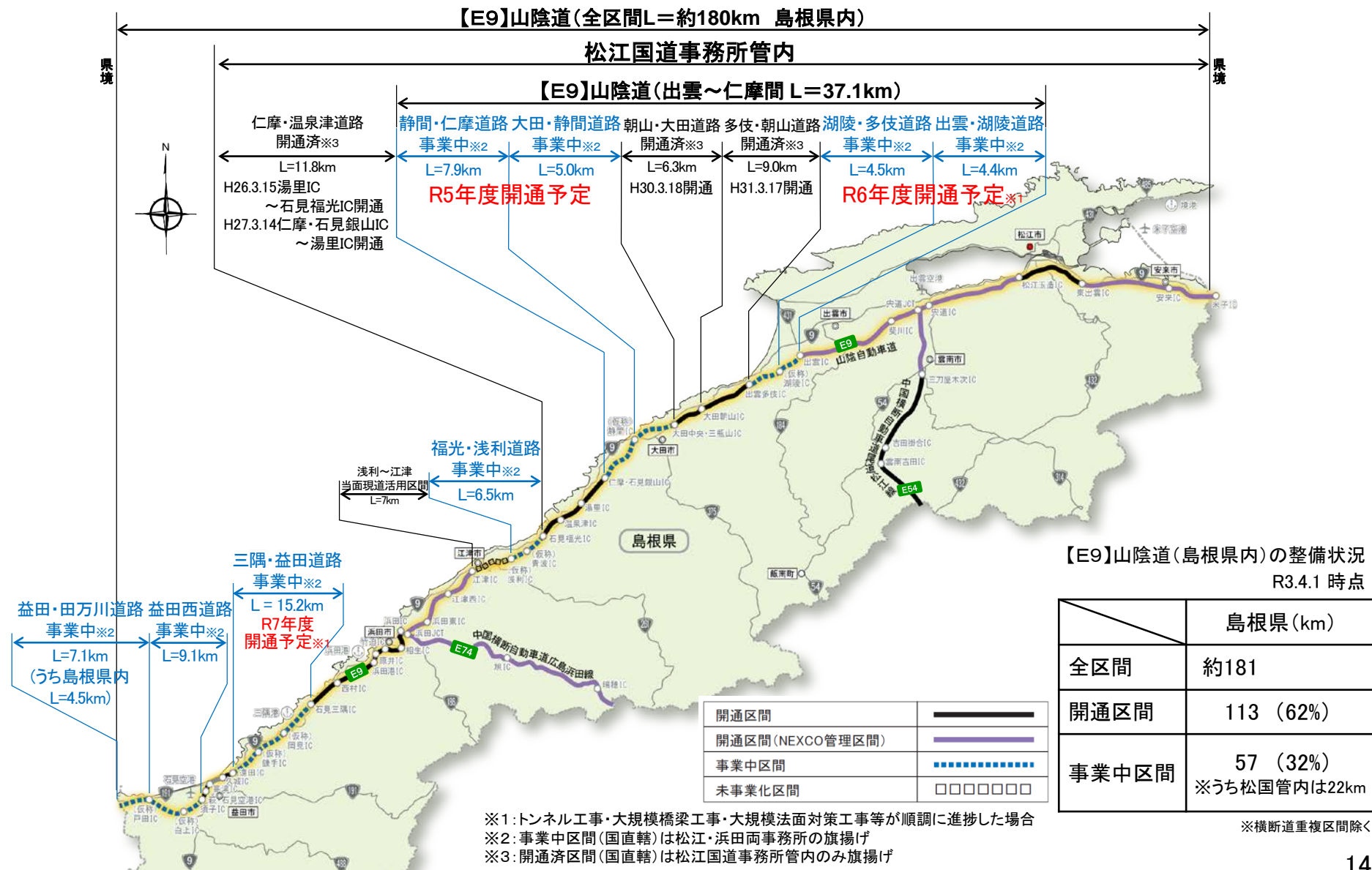


働く環境改善「週休2日宣言 山陰道」

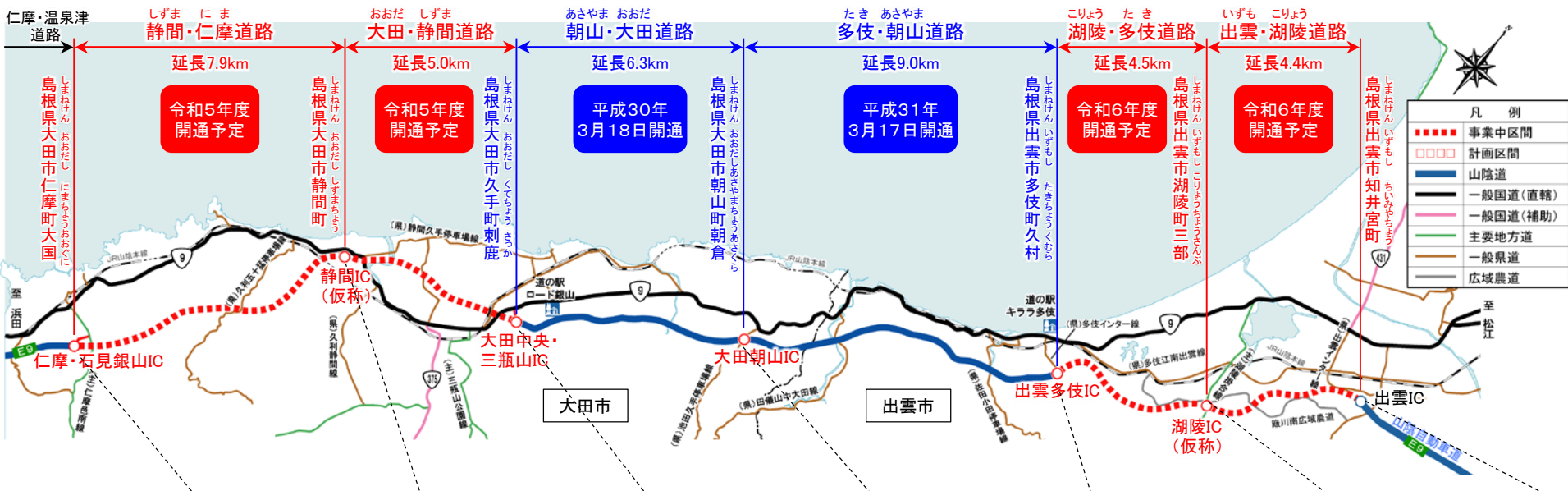
- ・ 建設業界と一体となった担い手確保、環境整備の取組

山陰道の整備状況（島根県内）

●令和7年度までに、島根県内で5区間開通を目標として、整備を推進中



山陰道の整備状況 (R3.4現在)



| 項目 \ 区間 | 静間・仁摩道路 | 大田・静間道路 | 朝山・大田道路 | 多伎・朝山道路 | 湖陵・多伎道路 | 出雲・湖陵道路 |
|---------------|--------------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 区間延長 | 7.9km | 5.0km | 6.3km | 9.0km | 4.5km | 4.4km |
| 事業化年度 | H20年度 | H24年度 | H19年度 | H18年度 | H24年度 | H20年度 |
| 開通年度 (目標公表) | R5年度 (予定) | R5年度 (予定) | H30.3.18 | H31.3.17 | R6年度 (予定) | R6年度 (予定) |
| 事業進捗率 (R3.3末) | 約85% | 約64% | 100% | 100% | 約79% | 約80% |
| 用地進捗率 (R3.3末) | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 全体事業費 | 約404億円 | 約300億円 | 約253億円 | 約472億円 | 約229億円 | 約273億円 |
| R3事業費 | 約46億円 | 約55億円 | — | — | 約20億円 | 約41億円 |
| R3年度事業概要 | 改良、橋梁、舗装工事推進 | 改良、橋梁工事推進 | — | — | 改良、橋梁工事推進 | 改良、橋梁工事推進 |

E9 山陰道 出雲・湖陵道路 令和6年度開通予定

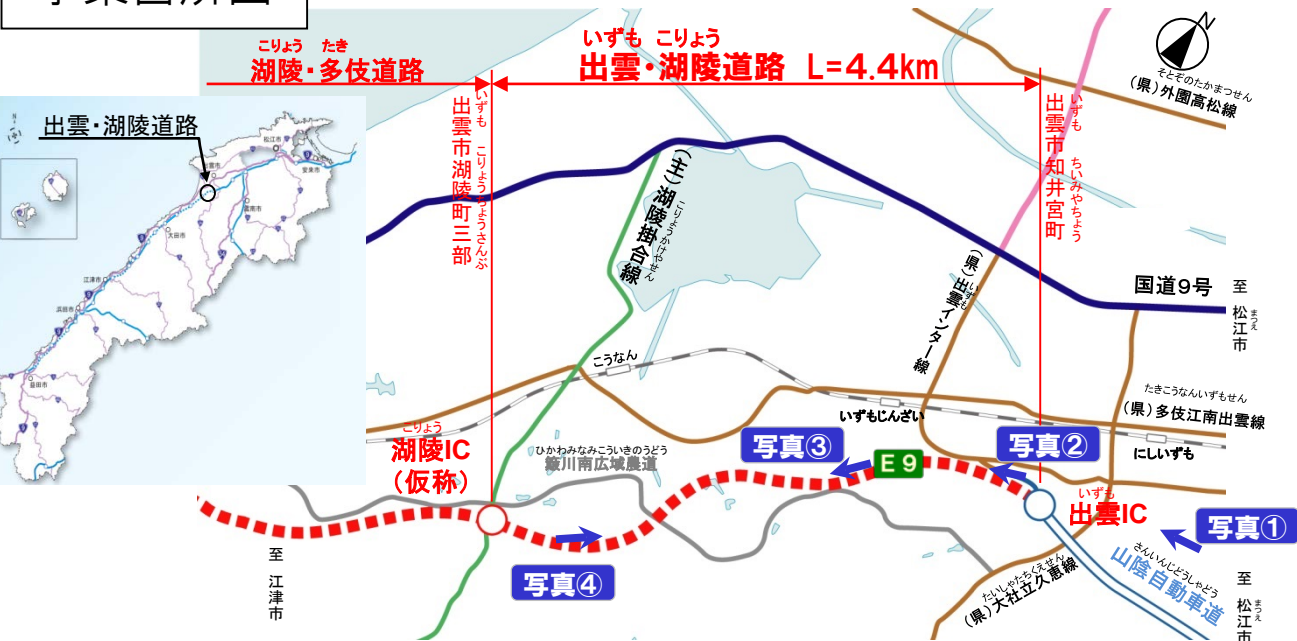
事業概要

一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、県中西部方面から出雲市中心部への流入付近で交通混雑が発生しており、交通事故も多発しており、地域の経済活動に多大な支障をきたしている状況です。

出雲・湖陵道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県出雲市知井宮町から出雲市湖陵町三部に至る延長4.4kmの自動車専用道路として、平成20年度に事業着手しており、令和6年度に開通予定です。(大規模橋梁工事、大規模法面対策工事が順調に進捗した場合)

令和3年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工を推進します。

事業箇所図



出雲IC付近から西を望む

状況写真 R3年2月時点



常楽寺第二高架橋付近



神西トンネル付近



東神西第一高架橋付近

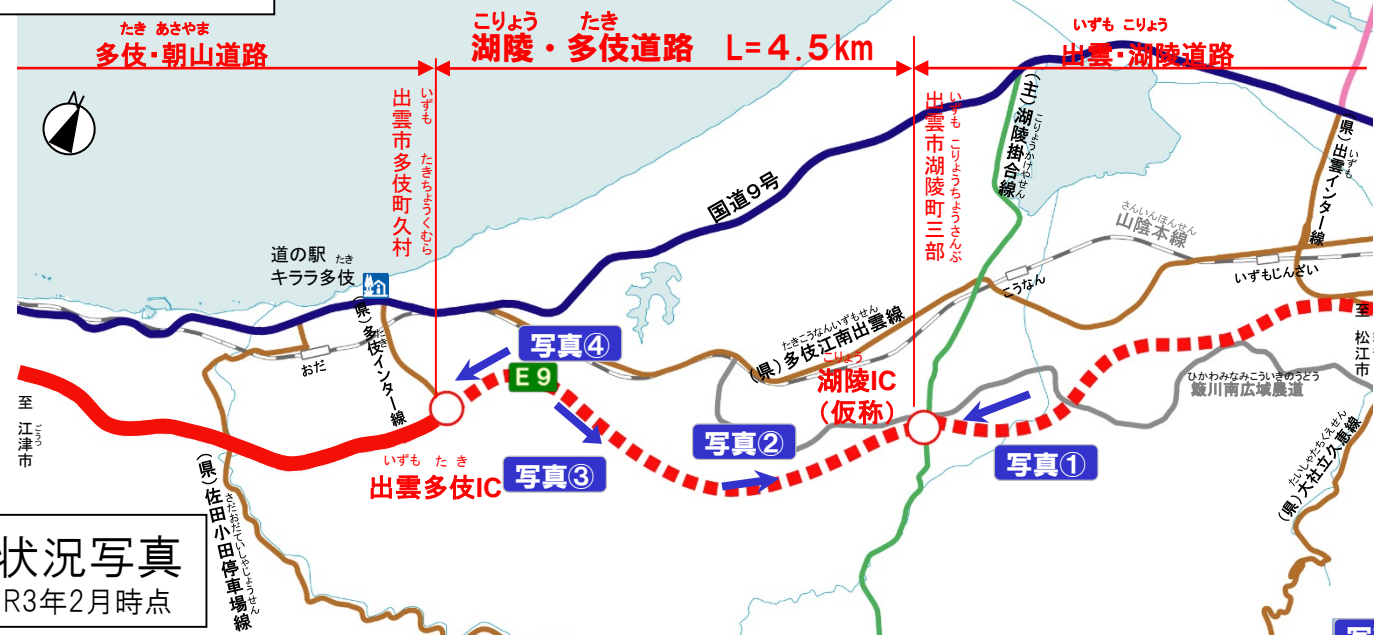
E9 山陰道 湖陵・多伎道路 令和6年度開通予定

事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く、通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路についても未確保の状況となっています。

事業箇所図

湖陵・多伎道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした島根県出雲市湖陵町三部から出雲市多伎町久村に至る延長4.5kmの自動車専用道路で、平成24年度に事業着手しており、令和6年度に開通予定です。(トンネル工事、大規模橋梁工事、大規模法面对策工事が順調に進捗した場合)
令和3年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工を推進します。



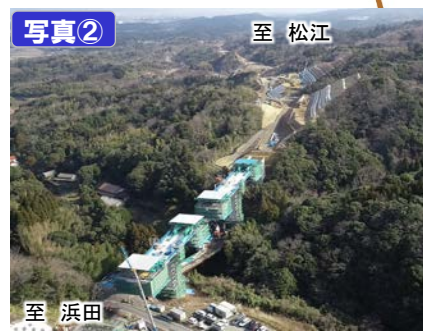
状況写真 R3年2月時点



いづも たき 出雲多伎IC



くむら 久村地区



にぶ 二部地区



こりょう 湖陵IC（仮称）付近から西を望む

E9 山陰道 大田・静岡道路 令和5年度開通予定

事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路が未確保の状況となっています。

一般国道9号大田・静岡道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした島根県大田市久手町刺鹿から大田市静岡町に至る延長5.0kmの自動車専用道路で、平成24年度に事業着手しており、令和5年度に開通予定です。

令和3年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工を推進します。

事業箇所図



状況写真 R3年2月時点



E9 山陰道 静間・仁摩道路 令和5年度開通予定

事業概要

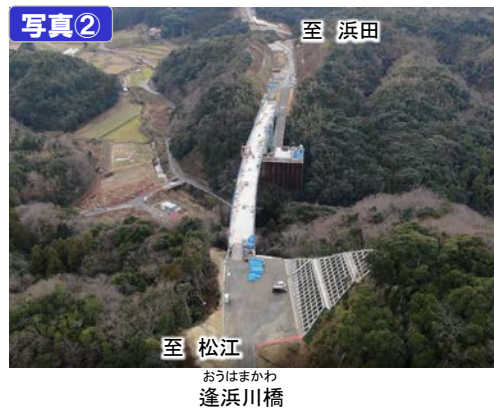
一般国道9号の現道部は、急カーブや急勾配が連続する区間が多く、死亡事故につながる重大事故が発生しやすい状況にあります。また、国際規格コンテナ通行支障トンネルや、事故や災害時には通行止めが発生し大幅な迂回が必要となるなど、社会経済活動に大きな支障をきたしています。

静間・仁摩道路は、このような課題を解決するために計画された道路で、島根県大田市静間町から大田市仁摩町大国に至る延長7.9kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しており、令和5年度に開通予定です。
令和3年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工、舗装工を推進します。

事業箇所図



状況写真 R3年2月時点



- 山陰道の工事進捗状況を現場見学会やSNS等を通じて発信
- 令和2年度は現場見学会9回実施、延べ約360人が参加



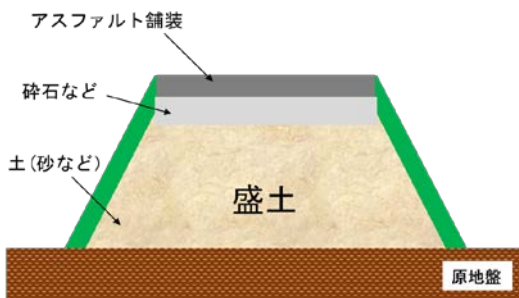
事務所ロビーに進捗パネル掲示(毎月更新)



地元説明用チラシ(工事毎に配布)

- 山陰道の工事では平成27年度より試行、令和2年度は山陰道の71工事(約8割)で実施
- 平成29年度「i-Construction大賞」で国土交通大臣賞受賞
令和2年度「中国i-construction表彰」を受賞した18企業のうち、松国管内での工事による受賞は、約4割にあたる7企業だった。

<盛土模式図>



- 【ICT活用の効果】
- 測量、品質管理作業の大幅減
 - 土工作業の安全性向上
 - 熟練技能の継承

<従来施工>



<ICT施工>



- 山陰道の全107工事で週休2日を宣言し、受・発注者一体で働き方改革に取り組む
- 快適トイレの設置数を128工事に増やす等、建設現場において働きやすい職場環境づくりに取り組む



↑ 山陰道週休2日宣言チラシ

建設現場に設置された快適トイレ →



E9 山陰道 多伎・朝山道路、朝山・大田道路の交通状況

- 多伎・朝山道路の開通から1年が経過し、断面交通量の5～6割が山陰道を利用しています。
- 多伎・朝山道路の開通により、隣接する朝山・大田道路と一体となった利用が進んでいます。

位置図

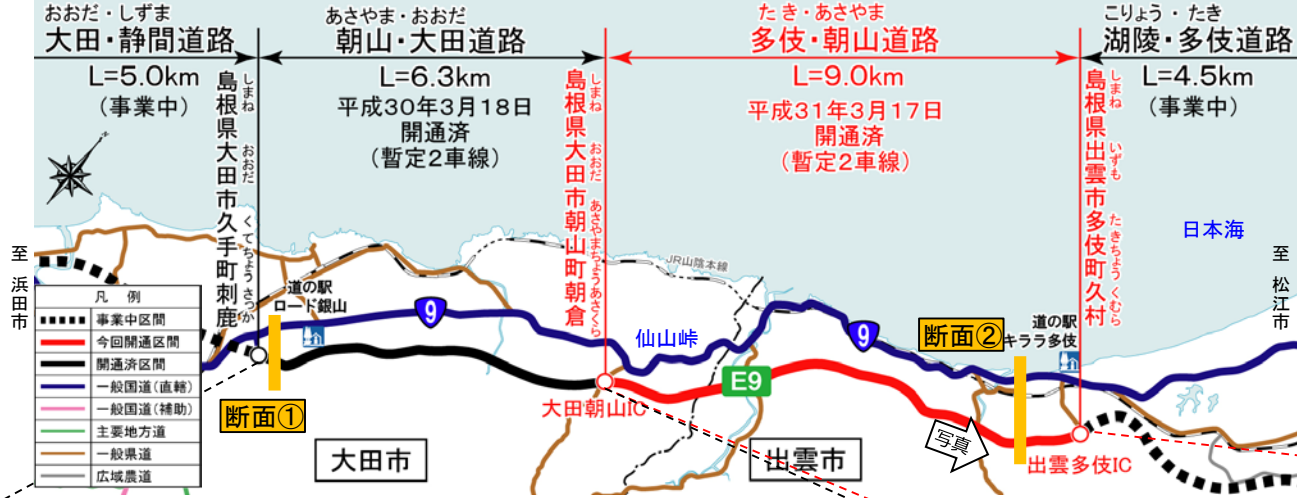
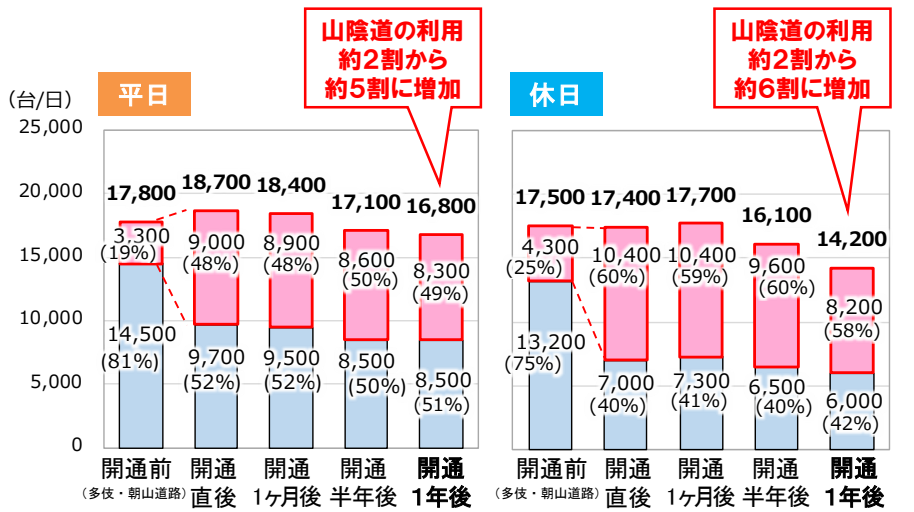
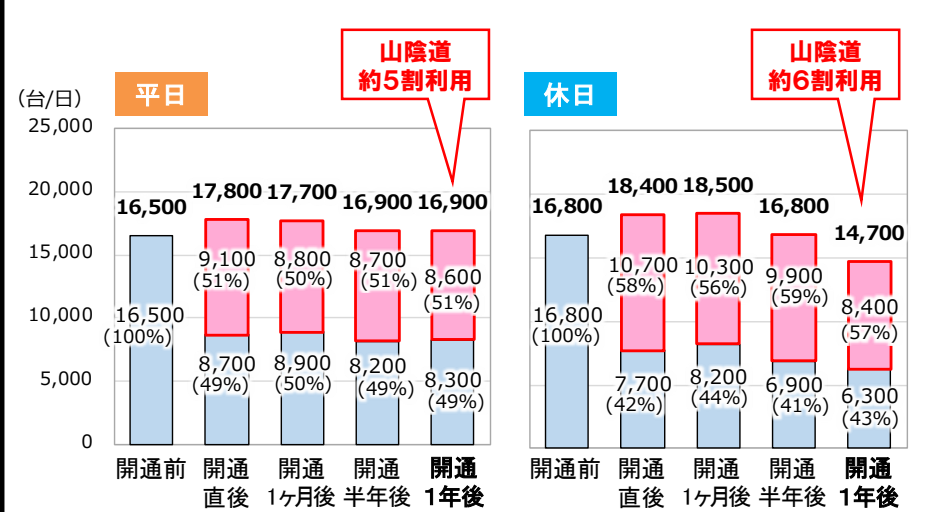


写真 多伎・朝山道路利用状況

断面①：朝山・大田道路及び国道9号の交通量



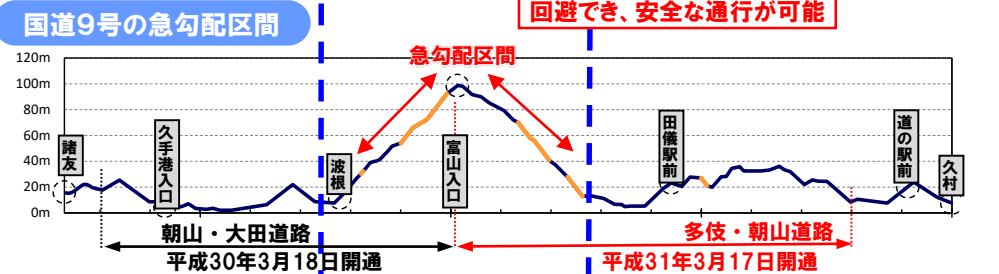
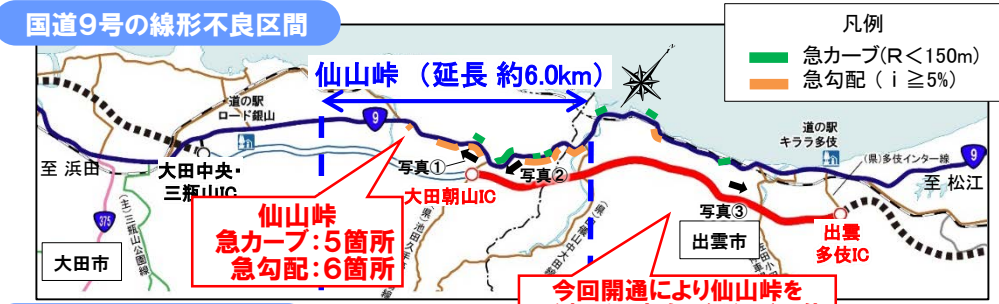
断面②：多伎・朝山道路及び国道9号の交通量



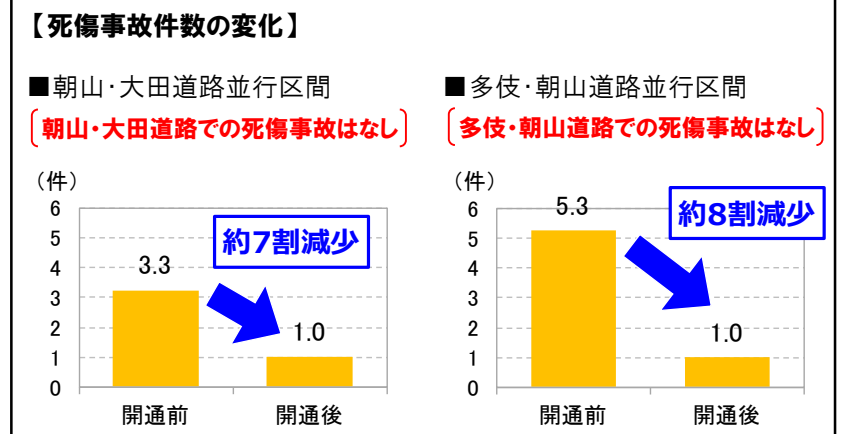
■ : 山陰道 ■ : 国道9号

※開通前：H30.10.24(水)、10.28(日) 開通直後：H31.3.26(火)、3.24(日) 開通1ヶ月後：H31.4.23(火)、4.21(日)
開通半年後：R1.10.1(火)、R1.9.29(日) 開通1年後：R2.3.3(火)、R2.3.8(日) ※いずれも 0:00～24:00

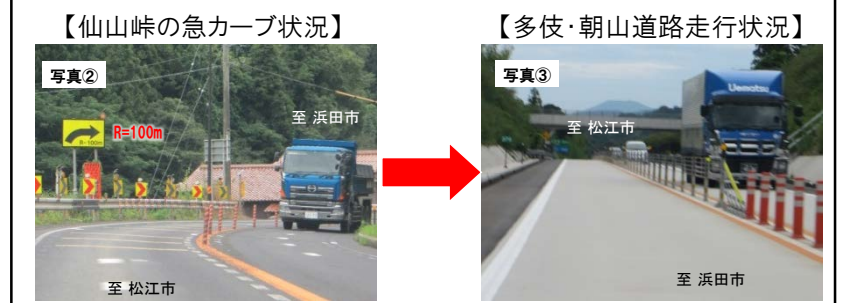
- 今回開通区間に並行する国道9号の「仙山峠」は、急カーブや急勾配が連続し、死亡事故も発生していました。
- 多伎・朝山道路の開通で、仙山峠を回避でき、事故件数は約8割減少、安全で快適な走行が可能となりました。



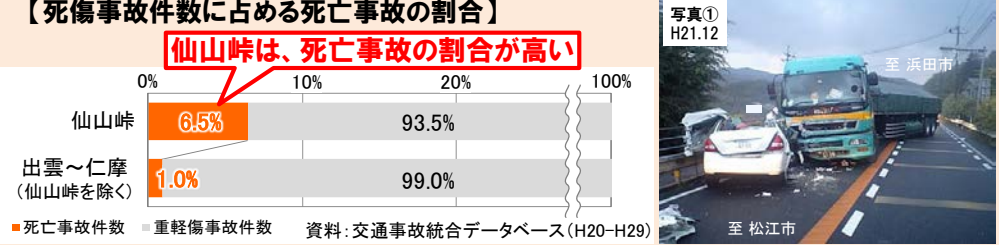
多伎・朝山道路開通による効果



資料: 開通前は、交通事故総合データベース(H26-H29)の4月~8月の5カ月間平均値
 開通後は、島根県警察本部資料のH31.4~R1.8の5カ月間合計値



山陰道開通前の仙山峠での事故発生状況



<利用者の声>

- ・仙山峠を通らなくてよかったため、安全性が向上しました。
- ・多伎・朝山道路はワイヤロープがあるため、安心して走行できます。(R1.5製造企業へのヒアリング結果より)

E9 山陰道の整備効果(観光振興)

● 出雲空港からの60分圏域の拡大。周遊観光の促進

出雲空港60分カバー圏域

- 現況カバー圏
- 山陰道(出雲～多伎、大田～仁摩)整備による拡大エリア

※平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出
※山陰道(出雲～仁摩間)は70km/hとして算出

- 凡例
- 高規格幹線道路
 - 高規格幹線道路(事業中)
 - 高規格幹線道路(計画路線)
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県境
 - 市境
 - 観光地



出雲・湖陵道路
L=4.4km
令和6年度開通予定
湖陵・多伎道路
L=4.5km
令和6年度開通予定

大田・静間道路
L=5.0km
令和5年度開通予定
静間・仁摩道路
L=7.9km
令和5年度開通予定

E9 山陰道の整備効果(地域経済の支援)

- 高速ネットワークの開通済区間沿線では企業による設備投資が行われ、新規雇用者数も着実に増加傾向である一方、未開通区間沿線である大田市では伸び悩んでいた。
- 多伎・朝山道路、朝山・大田道路整備により山陰道がつながることで企業進出が決定、新規雇用者の増加も期待され、山陰道の整備が地域経済を支援すると期待される。

山陰道・尾道松江線沿線における設備投資実施企業

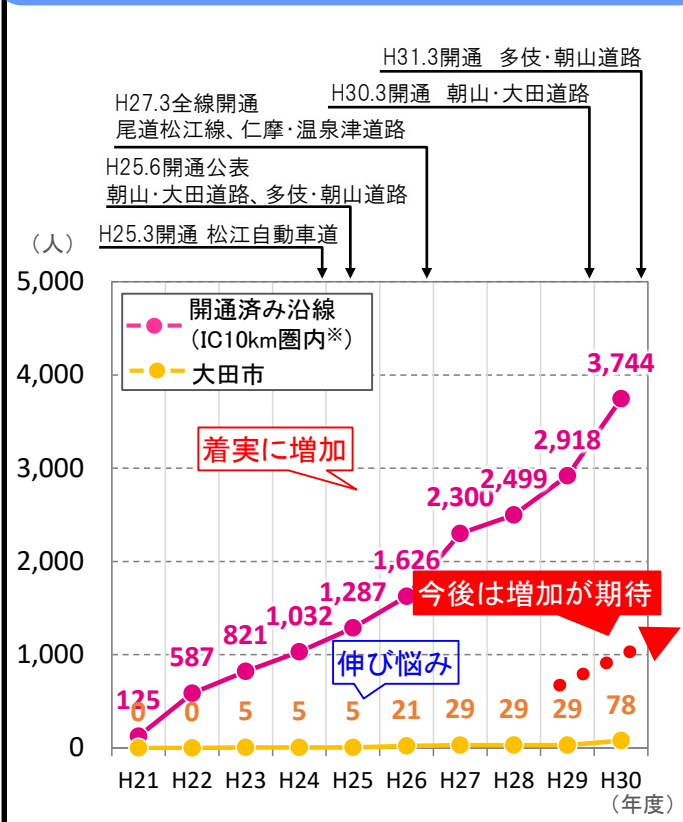


＜波根地区工業団地 立地決定(H31)企業の声＞

- ・将来的な生産能力の拡大に向けて、波根地区工業団地に用地を取得することにしました。
- ・山陰道のインターチェンジが近いこと、今までは国道9号しか幹線道路がありませんでしたが、山陰道と二重化することで、企業活動でのリスク回避につながることも、立地決定の一因となりました。

(H31.1 製造企業へのヒアリング結果)

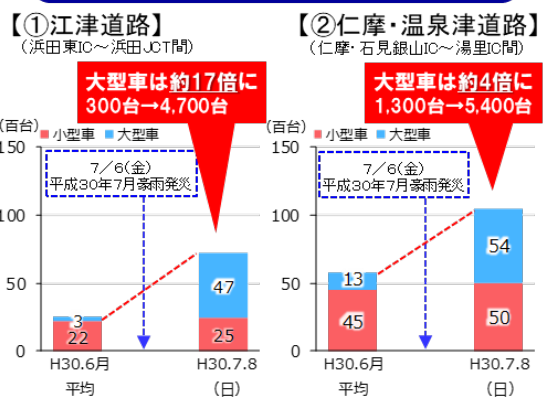
新規雇用者数の推移(累積)



E9 山陰道の整備効果(ダブルネットワークによる効果)

- 平成30年7月豪雨災害時に山陽道・中国道が通行止めとなり、広域交通が**山陰道・国道9号を迂回路として使用**。
- 国道9号では、交通量が増加し、速度低下も発生したが、**山陰道整備済み(ミッシングリンク解消)区間では、ダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性が確保**された。

山陰道の交通量の比較

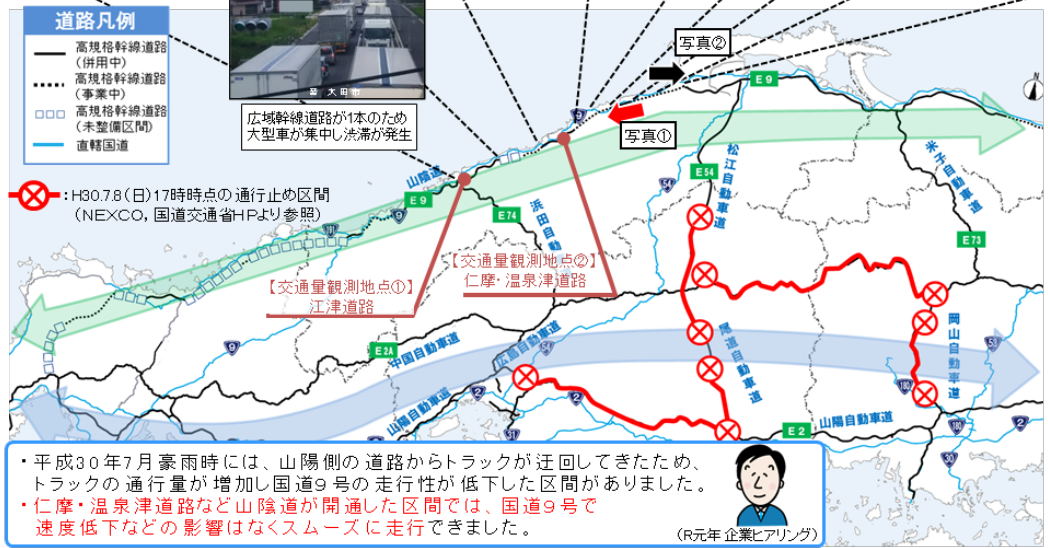
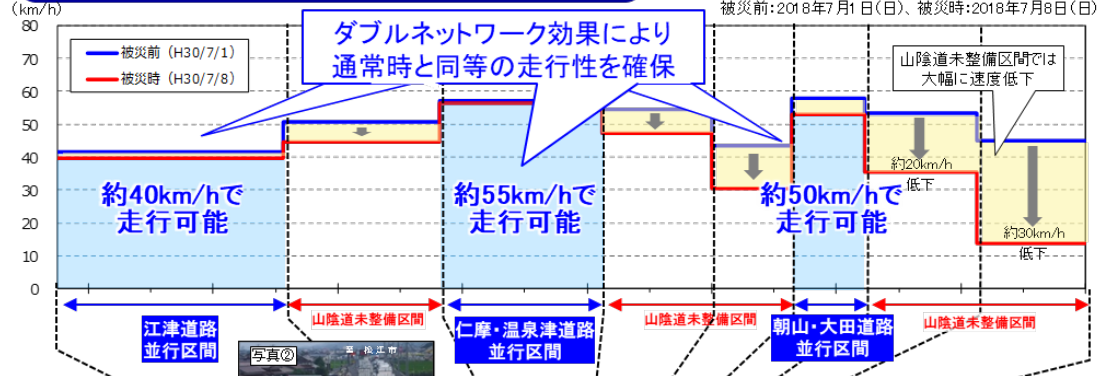


山陰道の状況(H30.7.8(日))



山陰道の整備によるダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性を確保

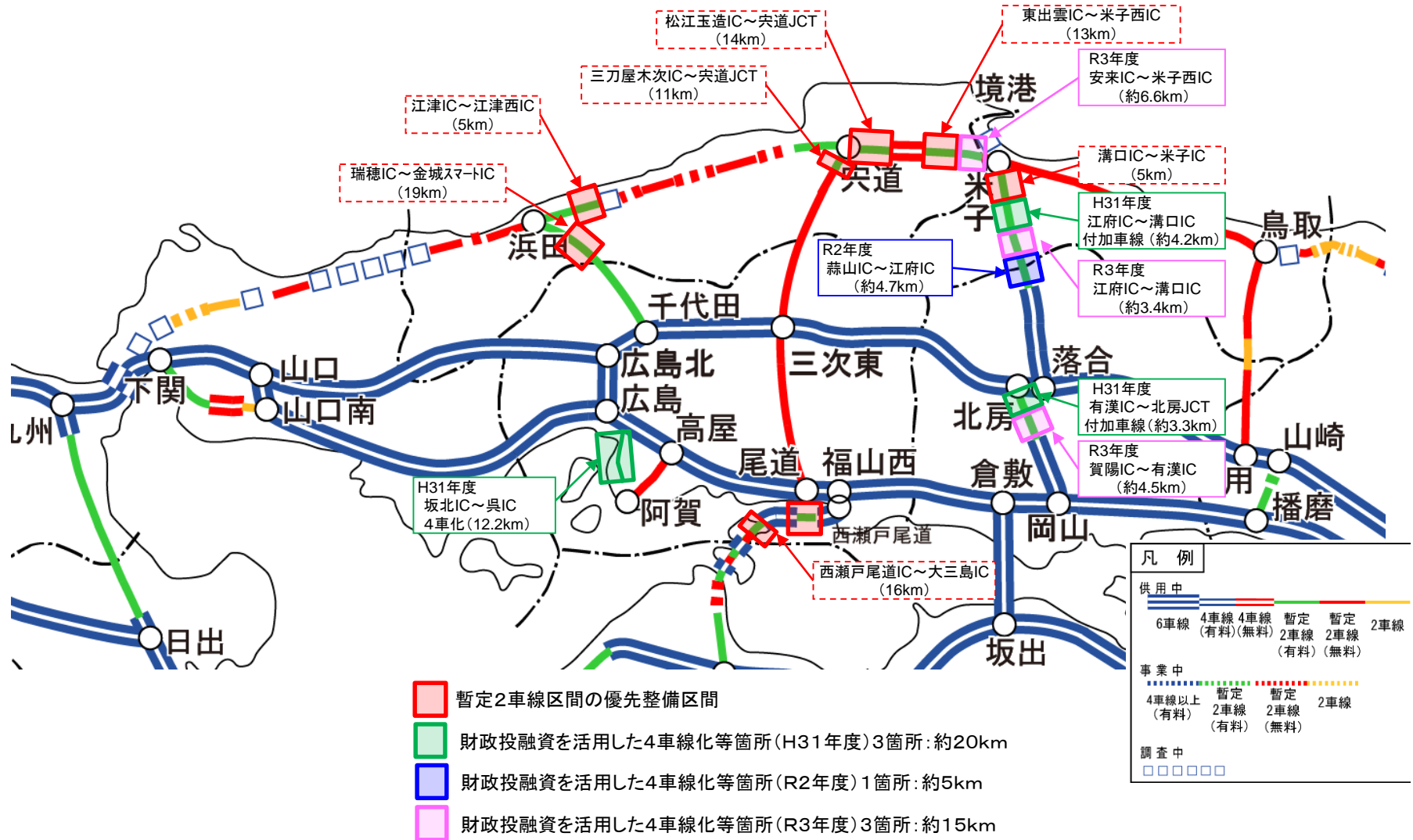
国道9号(出雲～浜田)の上下平均旅行速度の比較



[参考]災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築

暫定2車線区間の4車線化

○中国地方では、有料暫定2車線区間 約196kmのうち、約40kmを事業化。



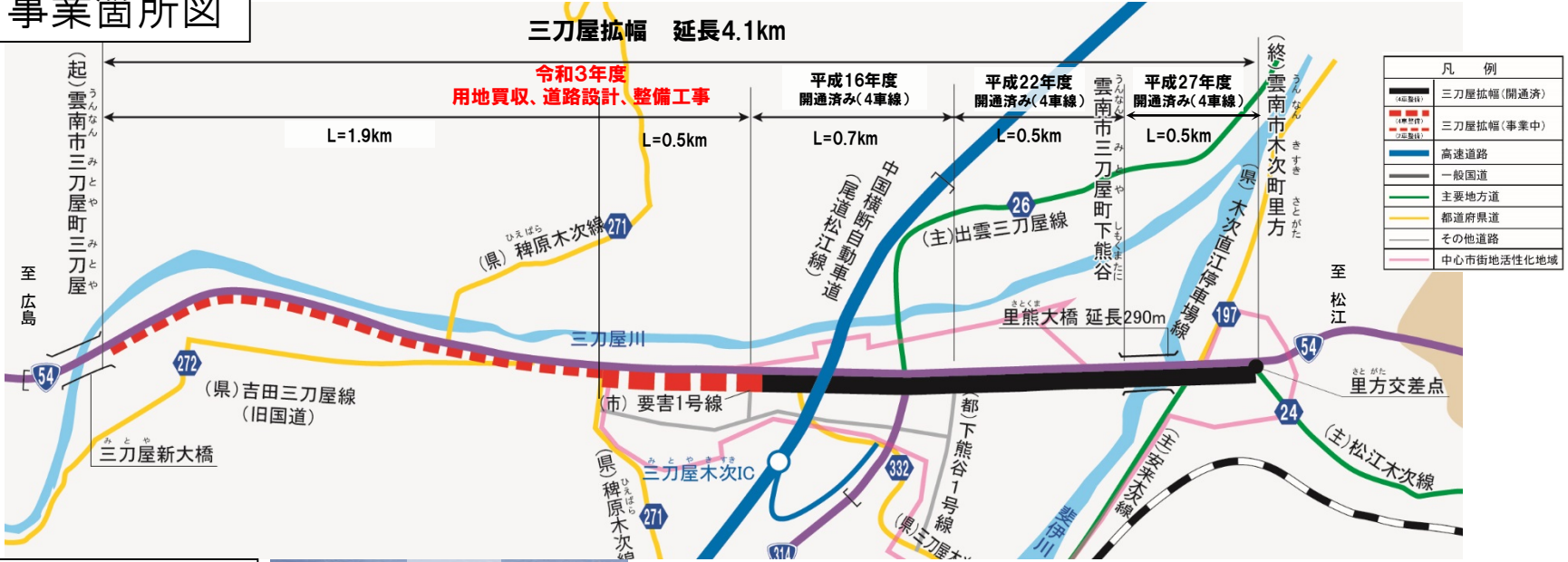
一般国道54号 三刀屋拡幅事業

事業概要

雲南市三刀屋町地内は中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。

令和3年度は、雲南市三刀屋町三刀屋において用地買収、道路設計、整備工事を推進します。

事業箇所図



状況写真



上空より里熊大橋周辺を望む



里熊大橋 広島方面を望む



県道の通学状況

令和3年度 交通安全事業・電線共同溝事業

交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間において、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、交差点等における事故防止を目的として交通安全事業を進めています。

令和3年度は、継続事業12箇所において、調査設計、用地買収、用地補償、工事を推進します。



【松江市東出雲町出雲郷】
一般国道9号 出雲郷東交差点改良

電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の保全、台風や地震時に電柱等の倒壊による道路の寸断を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的として、電線共同溝事業を進めています。

令和3年度は、継続事業箇所5箇所において、調査設計、本体工事、引込管路工事、連系管路工事、連系設備補償を推進します。



【現況】



【整備後イメージ】

一般国道9号 安来電線共同溝

R3 : 交通安全事業 678百万円
電線共同溝事業 210百万円



— 電線共同溝事業 5箇所
— 交通安全事業 12箇所